



## 赤ちゃんのおへそ



### <臍出血(さいしゅっけつ)>

へその緒が取れた後,しばらくは出血が続くことがあります. フラセチンパウダーなどの処置を2-3日続けていれば,止まります.

出血の量が増える,いつまでも出血が長びくようなら,硝酸銀で出血部位を処置するので,受診して下さい. 1回処置してもまた出血する場合には,繰り返し硝酸銀で処置をします.



### <臍肉芽腫(さいにくげしゅ)>

へその緒が取れたあとの切れ端が,肉のかたまりになることがあります. 小さい場合には経過を見るだけでいいでしょう. 大きい場合には糸でくくって,取ってしまいます.



### <臍炎(さいえん)>

へその緒がとれたあとの傷口から細菌が入って,おへそのまわりが赤くはれ,うみや血が出ます. おへそはからだの中と直接つながっているので,ひどくなると細菌が全身にまわって敗血症になることがあります. おへその奥の方までポビドンヨード液(イソジン, ネオヨジンなど)で消毒をして,抗生物質の軟膏を塗って下さい. 抗生物質の内服薬も処方しますので,しっかり飲ませて下さい.

\*臍出血や臍肉芽腫があるとおへそがグチグチして,臍炎になることがあります. 注意しましょう.



### <臍(さい)ヘルニア(でべそ)>

生後1か月をすぎるところから,「でべそ」が目立ってくる場合があります. 赤ちゃんはおへそのまわりの筋肉が弱いので,おへそのところに腸がもり上がって来てしまいます.

ほとんどの場合1歳までに自然に治るので,従来は放置されて来ました. しかし,「でべそ」が引っ込んでも,臍のまわりの皮膚が残って見かけが悪くなる場合があります. そこで,最近「綿球圧迫法」を行って積極的に治療します. 当院で実施していますので御相談下さい.

1歳半-2歳までに自然閉鎖しない場合は手術が必要です.

